

## 自ら挑戦することの大切さを教えてくれる図書

岩崎東里 — 高校図書館司書

『虹色のチョーク 働く幸せを実現した町工場の奇跡』  
小松成美／幻冬舎／2017年



「彼らこそ、この会社に必要なんです」社員の7割が知的障がい者である“日本でいちばん大切にしたい会社”を、描いた感動のノンフィクション。

「人は働くこと、人の役に立つことで幸せになれる」

この言葉は一番心に残ったフレーズだ。自らの経験でも言えることだが、自分の仕事に誇りを持って働くことは、生涯において大切な糧となる。だからこそ、周りの人々を支える優しさを持ち続けてほしい。それと同時に、自分自身も大切にしてほしいという想いを伝えたいと思い、この本を紹介した。

この神奈川県川崎市にあるチョーク製造会社・日本理化学工業株式会社は、昭和12年に小さな町工場からスタートした。障がい者雇用に力を注ぎ、全国から注目を集め続けている。虹色に輝く7本のチョーク。そこには作り手の誇りや働く喜びが詰まっている。

この会社を知ったのは『日本でいちばん大切にしたい会社』を読んだのがきっかけ。一人ひとりを大切にしてくれる姿勢とみんなが日本理化学工業株式会社で働く喜びを感じているということが素晴らしい。

昨年実施した1年生の図書室体験で、商業科の生徒に向けて、この本の魅力や印象深いエピソードを紹介した。この会社の人気商品であるキットパスは窓に絵が書け、水で消すことができる。特に、日本理化学工業株式会社の社員がランチタイムに食堂の窓に絵を描くことを楽しんでいる様子が本にも写真付きで掲載されており、アットホームな雰囲気が魅力的だ。

働くことによって、得られることは、「人に愛されること、人に褒められること、人の役に立つこと、人に必要とされること」であるというメッセージを心いっぱいを感じながら読んでほしい本である。📖